

令和6年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業評価結果

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	若い芽・こども音楽コンクール	224千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	a	A
	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	(673千円)	令和4年度(3年目)						
2	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物(特に両生類)の共生】を促進する事業	568千円	環境課	a	a	a	a	b	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(1,706千円)	令和4年度(3年目)						
3	"IMIZU"ファン創出・拡大プロジェクト～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～	339千円	観光・定住課	a	a	a	a	b	A
	一般社団法人とやまのめ	(643千円)	令和5年度(2年目)						
4	ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築	736千円	環境課	a	a	a	a	b	A
	公立大学法人富山県立大学	(1,164千円)	令和5年度(2年目)						
5	シンボルツリーのもとで集う 大・学園祭	675千円	政策推進課	a	a	a	a	b	A
	小杉まちづくり協議会	(1,251千円)	令和6年度(1年目)						
6	みんなで祝ういみず20周年 みんなで目指す いみず30周年 『SPECIAL LINK PARK IMIZU 20th anniversary ~祝20周年 そしてその先へ~』	697千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	b	A
	射水まちづくりネットワーク	(1,063千円)	令和6年度(1年目)						
7	PTAによる自主活動「ノッケル倶楽部」の継続的支援	206千円	学校教育課	a	c	c	a	c	C
	地域共創射水準備委員会	(525千円)	令和6年度(1年目)						

令和6年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業評価結果

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	地域振興会名	(総事業費)	開始年度(年数)	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	150千円	令和4年度(3年目)	a	a	a	a	b	A
	三ヶ地域振興会	(373千円)							
2	みんなで考えよう！自主防災の必要性！	101千円	令和5年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
	放生津地域振興会	(153千円)							
3	みんな集まれ七美こども神輿	200千円	令和5年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
	七美地域振興会	(300千円)							
4	eスポーツによる地域活性化事業	83千円	令和5年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
	塙原地域振興会	(126千円)							
5	学童バス停の花壇設置による笑顔いっぱい運動事業	34千円	令和5年度(2年目)	a	a	a	a	b	A
	水戸田地域振興会	(52千円)							
6	橋下条歴史書作成事業	200千円	令和6年度(1年目)	a	a	a	a	a	A
	橋下条地域振興会	(210千円)							

## 令和6年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業実施結果

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価					
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性						
1	若い芽・こども音楽コンクール	224千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	a	A					
	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	(673千円)	令和4年度(3年目)											
事業期間				令和6年4月1日～令和6年11月6日										
イベント等を開催した場合は、開催日				10月6日										
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				発表者74人										
事業概要				担当課としての所感										
幼児期・学童期の子どもを対象とした音楽コンクールを開催し、入賞を目指とするコンクールに参加することで音楽への意欲・関心を高め、生涯にわたり音楽に親しんでいく機会を促進し、人材育成及び人材発掘に取り組む。				本コンクールは、子どもを対象としたものであり、市内外から75名の参加申込があった(当日1名欠席)。コンクールの開催により、幼少期から音楽に触れる機会や日々の練習の成果を発表する場を提供した。また、音響に優れた小杉文化ホールを会場として使用することで、施設の魅力も発信した。担当課として、広報やホームページなどで開催を周知し、市内教育機関への参加案内に協力した。										
担当課としての今後の対応														
本年度で補助(協働事業)は終了するが、次年度以降は(公財)射水市文化振興財団と協力し継続して実施していくことが決まっている。引き続き、広報など必要な支援を続けていく。														

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価					
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性						
2	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物(特に両生類)の共生】を促進する事業	568千円	環境課	a	a	a	a	b	A					
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(1,706千円)	令和4年度(3年目)											
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日										
イベント等を開催した場合は、開催日														
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数														
事業概要				担当課としての所感										
里山地域が多い射水市において【人と野生動植物の共生】を図り、生物多様性・生態系の理念を啓発し、希少動植物・地域在来動植物・絶滅危惧種の保存を図るとともに過密化や老齢化の進行による里山の生物多様性の衰退を防ぎ地域の活性化を図る。				体色が白い希少なホクリクサンショウウオの発見、保護については特に評価すべきである。加えて、竹の伐採や植林などこれまで継続してきた地域環境の保全活動も評価できる。一方、自主財源の確保については見通しが難しいという点が課題である。										
担当課としての今後の対応														
令和7年度以降は市単独補助金である射水市自然環境保全活動推進事業補助金にて支援する。														

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価					
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性						
3	"IMIZU"ファン創出・拡大プロジェクト～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～	339千円	観光まちづくり課	a	a	a	a	b	A					
	一般社団法人とやまのめ	(643千円)	令和5年度(2年目)											
事業期間				令和6年7月1日～令和7年3月31日										
イベント等を開催した場合は、開催日				12月7日										
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				200人										
事業概要				担当課としての所感										
シンボルツリ一点灯式のイベントを通して市内外から人を集め、地域住民との繋がりや交流を促すことで、交流関係人口の拡大を図るとともに、移住促進のきっかけをつくる。				イベント当日は、地域住民だけでなく、市外から多くの参加者が来訪し、老若男女を問わず、地域内外の人々の交流を図ることができた。また、イベントの準備段階から、学生や県内農家、Eスポーツ団体等との連携など、コミュニティ形成やネットワーク構築のきっかけづくりを通して、交流人口・関係人口の創出につなげた。今後は、本事業の継続に向けて、参加費をとるなど自己資金等の確保の点で改善を図っていく必要があると考える。										
担当課としての今後の対応														
地域の暮らしに興味がある県外在住者に向けて、情報発信・周知に加え、体験を通じた移住検討につなげられるよう団体と連携した取組を進めます。														

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価						
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性							
4	ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築	736千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	b	A						
	公立大学法人富山県立大学	(1,164千円)	令和5年度(2年目)												
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日											
イベント等を開催した場合は、開催日				5月26日、6月30日、7月28日、8月25日、9月29日、10月8日、10月27日、11月24日、1月26日、2月23日、3月30日											
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				300人											
事業概要				担当課としての所感											
教育には制服や学用品など、多くの費用がかかり、負担が大きくなっている一方で、使わなくなった制服等は、状態が良いまま廃棄物として扱われている。 小中学校の制服などの回収・引き渡しにより、子育て支援を行うことで、市内における社会福祉の充実を目指す。				<ul style="list-style-type: none"> <li>制服循環システムの構築は、ごみ減量化やリユースの促進に有効な取組である。</li> <li>市が実施する環境イベントにおいて提案団体が実施する事業を共同開催することにより、制服循環の取組を多くの市民に知っていただきたいとなった。</li> <li>計画していた協賛金が確保できていないため、販売単価を増やすなど収益構造の改革が必要である。</li> <li>ホームページの充実やSNSの活用を図るなど、更なるデジタル化の推進に努められたい。</li> </ul>											
担当課としての今後の対応															
提案団体が実施する事業の共同開催及び周知等について、引き続き連携して取り組む。															

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価					
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性						
5	シンボルツリーのもとで集う 大・学園祭	675千円	政策推進課	a	a	a	a	b	A					
	小杉まちづくり協議会	(1,251千円)	令和6年度(1年目)											
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日										
イベント等を開催した場合は、開催日				11月8日										
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				1000人										
事業概要				担当課としての所感										
高等教育機関の学生と地域が協働でシンボルツリーを設置し、催しやワークショップ等を行うことで、ツリーをシンボルとしながら、学生相互の交流や学生と地域の交流を促し、地域活性化を図る。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のまちづくり団体が主体となったイベントに地域住民だけでなく市内外の学生など若い世代が集まり、かつ学校の枠を超えた学生同士の交流やつながりが生まれるなど、地域の新たな賑わい創出につながった。</li> <li>・担当課では、運営側の一員として事前準備から当日の運営に至るまでサポートを担ったほか、イベントへの学生参加を仲介するなどの支援を行った。</li> </ul>										
担当課としての今後の対応														
引き続き運営側の一員としてサポートを行うとともに、提案団体の特記事項にあるように、若い世代による将来的な自走化を実現化するためにはどうすればよいか、提案団体とともに協議・検討していく。														

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価					
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性						
6	みんなで祝ういみす20周年 みんなで目指すいみす30周年『SPECIAL LINK PARK IMIZU 20th anniversary ~祝20周年 そしてその先へ~』	697千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	b	A					
	射水まちづくりネットワーク	(1,064千円)	令和6年度(1年目)											
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日										
イベント等を開催した場合は、開催日				9月16日										
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				1,500人										
事業概要				担当課としての所感										
外国人を含めた「射水市民」全体で令和7年度の市制20周年を祝う機運を醸成するため、まずは、お互いの生活習慣や文化を理解し尊重し合えるようになる多文化共生イベント「リンクパーク」を開催する。				<p>令和7年度の射水市制20周年に向けて、日本人・外国人問わず射水市民の機運を高めるイベントとなった。担当課は事業内容への助言のほか、広報誌やケーブルテレビ、SNS等での周知を担った。多文化共生イベントは異文化理解の契機であり、単発で終わらせずに継続されることで相互理解が進んでいくため、イベント後にも参加者同士の交流が続くように検討していく必要がある。</p>										
担当課としての今後の対応														
事業の計画段階から外国人住民の意見を取り入れること等を助言し、日本人・外国人がともに作り上げるイベントになるよう促していく。また、外国にルーツを持つ人を含め、年齢を問わず様々な人との関わりを持ち、継続性のある事業となるよう共に検討していく。														

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価					
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独立性	V 自立性・持続性						
7	PTAによる自主活動「ノッケル倶楽部」の継続的支援	206千円	学校教育課	a	c	c	a	c	C					
	地域共創射水準備委員会	(525千円)	令和6年度(1年目)											
事 業 期 間				令和6年10月1日～令和7年3月31日										
イベント等を開催した場合は、開催日														
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数														
事 業 概 要				担当課としての所感										
子どもの習い事や学習塾への送迎が困難な家庭に対し、乗り合わせでシステム的に送迎できるシステムをPTAが主導となって構築することで、子育て支援の一助となることを目指す。				地域課題の解決や市民ニーズを捉えた事業であるが、事業の組み立てや利用者の安心・安全等の観点で課題を感じる。										
※対象としていた小学校の合併によりPTAとの協働が困難となつたなどを要因に、事業継続が困難となつた。PTA主導ではなく、一般社団法人を設立し、その中で事業を継続。事業計画の見直しとなつたことから、当初予定していたとおりの事業はできなかつた。														
担当課としての今後の対応														
市の補助事業としては継続はしないと聞いているが、国の補助を受け、事業を継続予定。今後は必要に応じ適宜情報共有しながら、協働していく。														

## 令和6年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施結果

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦 三ヶ地域振興会	150千円 (373千円)	令和4年度(3年目)	a	a	a	a	b	A
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和6年10月20日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				50人					
事業概要				担当課としての所感					
三ヶ地区の下条川沿いの更なる魅力向上を図るため、桜の開花時期に合わせて花が咲くよう、下条川の土手沿いにスイセンの植え込みと清掃活動を行う。				植栽の際、地域住民に下条川の魅力向上を発信し、住民主体のボランティア発掘を促し、約50名のボランティア参加があった。地域の魅力向上だけでなく、地域住民の町づくりへの意識高揚も図られたと思われる。					
担当課としての今後の対応									
補助期間終了となるが、引き続き下条川の水仙の植栽は続けていくとのことから、事業の広報や継続に係る相談を隨時していく。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	みんなで考えよう！自主防災の必要性！ 放生津地域振興会	101千円 (153千円)	令和5年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
事業期間				令和6年4月1日～令和7年2月28日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和6年6月8日、令和6年11月24日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				令和6年6月8日：33名、令和6年11月24日：200名					
事業概要				担当課としての所感					
防災活動を通じて交流を深めるとともに、地域の自主防災意識を高めていく。				ワークショップや自主防災訓練等を通して、地域の防災リーダーの育成や、地域コミュニティの自助・共助の成長につながったと思われる。有事の際の対応について、地域内で共通の意識を持つこともできたと思うので、地域防災力の向上が図れたと思われる。					
担当課としての今後の対応									
ワークショップや自主防災訓練等を通して、地域の防災リーダーの育成や、地域コミュニティの自助・共助の成長につながったと思われる。有事の際の対応について、地域内で共通の意識を持つこともできたと思うので、地域防災力の向上が図れたと思われる。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	みんな集まれ七美こども神輿 七美地域振興会	200千円 (300千円)	200千円 令和5年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和6年7月20日、令和6年9月28日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				600名					
事業概要				担当課としての所感					
子どもから高齢者までが、ふれあえる場を日常的に創り出す地域づくりを目指す。 ～目的～ ①幼年期の楽しい思い出作り、ふるさと醸成 ②地域コミュニティの形成。				親子の触れ合いはもとより、幅広い世代が交流だけでなく、多国籍の子どもや保護者との交流が深まる機会の創出も図られ、地域コミュニティの醸成ができたと思われる。					
担当課としての今後の対応 引き続き、広報の支援とアドバイスを実施する。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	eスポーツによる地域活性化事業 塚原地域振興会	83千円 (126千円)	83千円 令和5年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日									
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数									
事業概要				担当課としての所感					
eスポーツを通して、ふれあい活動ができる場を提供し、笑顔あふれ健康で長生きの地域を目指す。 ～目的～ ①笑顔あふれる、活力と魅力ある地域づくり ②他地域から見て、住みたくなる町づくり ③地域コミュニティの形成				高齢者のコミュニケーションの場ができたことや児童館の児童とのふれあいのツールとしても活用されただけでなく、三世代交流にも寄与し、それぞれの世代と共に話題ができるなど地域コミュニティの醸成につながったと思われる。					
担当課としての今後の対応  継続意向がないため、令和6年度で事業終了となるが、今後も地域の交流のツールとして活用をいただくべく、引き続き好事例となつたものについては他の地域への展開も検討していく。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
5	学童バス停の花壇設置による笑顔いっぱい運動事業 水戸田地域振興会	34千円 (52千円)	令和5年度(2年目)	a	a	a	a	b	A
事業期間				令和6年4月1日～令和7年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和6年6月9日、令和6年11月17日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				70人					
事業概要				担当課としての所感					
地区内5か所の学童バス停に三世代で花壇を設置することで、子どもの情操教育を図るだけでなく、地域の交流を深めていく。				地域内での事業の周知に力を入れていたことから、花植えや花壇の管理について、地域一体となって事業実施できており、地域の一体感が醸成されたように思われる。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、広報と事業のアドバイスを実施する。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
6	橋下条歴史書作成事業 橋下条地域振興会	200千円 (210千円)	令和6年度(1年目)	a	a	a	a	a	A
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年7月22日、8月19日、9月16日、11月3日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約1,200人					
事業概要				担当課としての所感					
橋下条地区は古い歴史があり、歴史的価値もあるが、後世に残す歴史書がない。地域住民主導で歴史書を作成することで、地域について深く理解する。				地域住民が地域の歴史への理解を深めることで、地域住民の地域への愛着が深まったように思われる。また識者を招いての講演会では、多くの地域住民が参加するなど、地域の一体感も醸成されたように思われる。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、広報の支援とアドバイスを実施する。									